

非破壊試験技術講習会開催案内（2015 年 12 月～2016 年 2 月）

—JIS Z 2305:2013 認証試験で要求される訓練時間に対応—

主催 一般社団法人 日本非破壊検査協会

The Japanese Society for Non-Destructive Inspection

<http://www.jsndi.jp/>

当協会では、2015 年秋期から JIS Z 2305:2013「非破壊試験—技術者の資格及び認証」に基づく認証制度を実施致します。

JIS Z 2305:2013 では受験申請資格として各 NDT 方法で、「訓練時間」が要求され、訓練実施記録（レベル 1、2、3 は必須）が必要となります。

本講習会は JIS Z 2305:2013 で必要とされる訓練時間の**全部又は一部**を満足する設定になっております。この要求される「訓練時間」に対して、今回実施される講習会の訓練時間の対比については、本開催案内の (P.2) の **2. 本訓練コースと JIS Z 2305:2013 認証試験で要求される「訓練時間」の対比**を確認して下さい。

なお、受講終了後に訓練実施記録を発行し、講習会最終日に手渡し又は郵送致します。

目 次

1. JIS Z 2305:2013 認証試験の受験申請資格

1) レベル 1・レベル 2 及びレベル 3

各 NDT 方法について、表 1-1 又は表 1-2 の訓練時間を満足することが必要であり、レベル 1 の資格を有していない方がレベル 2 の受験申請を行う際には当該 NDT 方法のレベル 1 とレベル 2 の合計の訓練時間が必要となります。（受験申請時から過去 5 年以内のもの）。

2) レベル 3

関連訓練コースの履修、関連 NDT の学術講演会、セミナーに出席又は発表による貢献、あるいは NDT 関連の書籍の執筆、又はそれらによる学習の証明等が必要となります（受験申請時から過去 5 年以内のもの）。

1) JIS Z 2305:2013 認証試験の受験資格……………1	7) 講習会使用書籍一覧……………23～25
2) 本講習会と JIS Z 2305:2013 認証試験で 要求される訓練時間の対比……………2	8) 書籍申込要領……………26
3) 講習会申込方法、申込注意事項、会員価格等……………3	9) 講習会受講者専用書籍注文書……………28
4) 各種講習会開催要領……………4～18	10) 講習会申込書 記載注意事項……………29
5) 各支部講習会予定……………19～21	11) 非破壊試験技術講習会申込書(記入例)……………30
6) 講習会会場案内……………22	12) 非破壊試験技術講習会申込書……………31

表 1-1 訓練時間

NDT 方法 (略称)	レベル 1 (時間)	レベル 2 (時間)		レベル 3 (時間)
		レベル 1 資格所有者	レベル 1 非資格所有者	
放射線透過試験 (RT)	4 0	8 0	1 2 0	4 0
超音波探傷試験 (UT)	4 0	8 0	1 2 0	4 0
磁気探傷試験 (MT)	1 6	2 4	4 0	3 2
浸透探傷試験 (PT)	1 6	2 4	4 0	2 4
渦電流探傷試験 (ET)	4 0	4 8	8 8	4 8
ひずみゲージ試験 (ST)	1 6	2 4	4 0	2 0

表 1-2 訓練時間 (限定 NDT 方法)

限定 NDT 方法 (略称)	限定レベル 1 (時間)	限定レベル 2 (時間)	
		限定レベル 1 資格所有者	限定レベル 1 資格非所有者
超音波厚さ測定 (UM)	2 0	—	—
極間法磁気探傷検査 (MY)	8	1 6	2 4
通電法磁気探傷検査 (ME)	8	—	—
コイル法磁気探傷検査 (MC)	8	—	—
溶剤除去性浸透探傷検査 (PD)	8	1 6	2 4
水洗性浸透探傷検査 (PW)	8	—	—

2. 本訓練コースと JIS Z 2305:2013 認証試験で要求される「訓練時間」の対比

各NDT方法の要求される「訓練時間」に対して、今回実施される訓練コースの訓練時間の対比を表2に示します。

レベル1の資格を所有しないでレベル2を直接受験する場合には、当該NDT方法のレベル1とレベル2の合計の訓練時間が必要です。(1. JIS Z 2305:2013 認証試験の受験申請資格の表1-1、1-2 参照)

表2 JIS Z 2305:2013 が要求する訓練時間と訓練コースとの対比

NDT方法 (略称)	レベル	JIS Z 2305:2013 要求訓練時間	訓練コース	訓練時間	追加が必要 な訓練時間
全NDT共通 (基礎コース)	3	8	レベル3	16	—
放射線透過試験 (RT)	1	40	レベル1	40	—
	2	80 ^注	レベル2	48	32
	3	40	レベル3	24	8(基礎含)
超音波探傷試験 (UT)	1	40	レベル1	40	—
	2	80 ^注	レベル2	40	40
	3	40	レベル3	24	8(基礎含)
磁気探傷試験 (MT)	1	16	レベル1	16	—
	2	24 ^注	レベル2	24	—
	3	32	レベル3	24	0(基礎含)
浸透探傷試験 (PT)	1	16	レベル1	16	—
	2	24 ^注	レベル2	24	—
	3	24	レベル3	24	—
渦電流探傷試験 (ET)	1	40	レベル1	40	—
	2	48 ^注	レベル2	48	—
	3	48	レベル3	24	16(基礎含)
ひずみゲージ試験 (ST)	1	16	レベル1	16	—
	2	24 ^注	レベル2	24	—
	3	20	レベル3	20	—

超音波厚さ測定 (UM)	1	20	レベル1	20	—
極間法磁気探傷検査 (MY)	1	8	レベル1	16	—
	2	16 ^注	レベル2	24	—
通電法磁気探傷検査 (ME)	1	8	レベル1	16	—
コイル法磁気探傷検査 (MC)	1	8	レベル1	16	—
溶剤除去性浸透探傷検査 (PD)	1	8	レベル1	16	—
	2	16 ^注	レベル2	24	—
水洗性浸透探傷検査 (PW)	1	8	レベル1	16	—

注1：要求訓練時間は、レベル1資格所有者の場合である。

注2：レベル3の試験を受験する時はレベル3共通（基礎コース）の訓練実施記録の8時間は必須ですので集計表には、各部門のレベル3の時間プラスレベル3共通（基礎コース）を記入して頂く事になりますのでご了承下さい。

3. 講習会申込方法

1) 申込受付

所定の申込書に必要事項を記入の上、郵送にて以下の申込先迄までお申込み頂くか、WEBシステム上でお申込み下さい。電話・FAX等での受付及び予約は、一切いたしておりません。受講申込み受付は、申込書の到着をもって正式受付とします。

申込先：〒136-0071 東京都江東区亀戸2-25-14 立花アネックスビル 10階

一般社団法人 日本非破壊検査協会 業務課講習会係 (TEL 03-5609-4013)

***平成17年4月より、当協会ではインターネット（WEBシステム）で、簡単に講習会や書籍のお申し込みが出来ます。**

詳細につきましては、<http://www.jsndi.jp/>のWEBシステムをご参照下さい。

2) 締切

申込の締切は各講習会開催の2週間前迄です。ただし、定員に達し次第締切ます。(定員に余裕がある場合は、その限りではありません。)

3) 受講票の発送

申込書受領後、各種講習会開催日の2週間前に受講票・講習会会場地図・受講料振込用紙を発送します。

講習会開催日の1週間前になっても受講票が届かない場合は、申込先へお問合せ下さい。

4) 受講料

P.4～P.18の各講習会開催要領をご参照下さい。受講料振込用紙が到着次第、指定期日までに送金をお願い致します。

講習会の出欠にかかわらずに振込を完了されませんと、以後講習会への申込はできなくなりますので、ご注意ください。

注) 受講料は正式受付をもって全額納入の義務を生じます。受講申込書受理後の受講取り消しは、一切できません。

受講申込の際には、充分にご注意下さい。

※受講料振替の領収書は発行致しません。また、お振込後の受講料は返金できませんので御了承下さい。なお、請求書は受講申込書単位での請求になりますので、複数の申込の場合でも一括での振込はご遠慮下さい。必ず振込用紙をお願いします。

5) 講習会使用書籍

講習会で使用する書籍（使用・参考）の注文は、JSNDI講習会受講者専用書籍注文書により事前に購入の上、講習会に臨んで下さい。（本講習会受講の方には、協会発行書籍を会員価格でご提供させていただいております。）

書籍購入を希望される方は、書籍注文書を講習会申込書と同封のうえ申込先までご送付下さい。

講習会当日の書籍販売は致しません。年版を確認の上、必ず講習会当日までに、ご購入下さい。

◎申込に際して、必要な送付書類

- ・講習会受講申込書（必ず各コース1人1枚を用意して下さい。）
- ・書籍注文書（書籍購入希望者）

6) JIS Z 2305:2013 訓練実施記録の発送

受験申請の際に、レベル1、2、3には「訓練実施記録」が必要となります。本講習会では、「訓練実施記録」を受講終了後に発行し講習会最終日に手渡し又は郵送致します。「訓練実施記録」は、受験申請時にはコピーに署名・捺印し添付することになっておりますので、原本は各自で大切に保管して下さい。再発行は、有料（3,250円 税込）となりますので、紛失しないようご注意ください。

7) 申込注意事項

・訓練コース：技術部門ごとにレベル1、2、3にコースが分かれ、必要な知識・技量に応じた講義・実習の内容となっておりますので、コースの選定には十分ご留意下さい。

・受講対象者：レベル2技術者コース講習会は、**レベル1技術者の技量のある方**を対象に企画しております。詳細はP.4～P.18の講義内容及び時間割を参照下さい。

8) 受講料の会員価格

当協会の会員の皆様にはサービスの一環として、受講料の会員価格を設けさせていただいております。また、行事参加券をお持ちの方は会員価格にて受付いたしますので、申込の際には講習会申込書に必ず添付して下さい。行事参加券の添付のない場合には、非会員価格になりますのでご注意ください。**会員価格対象者は受講者本人が正会員（支部賛助会員は対象外）で登録されている方になっております。（会員証に氏名が記載されている本人。）**

「非破壊試験技術者資格証明書」に記載されている個人登録番号又は個人コードではございませんのでご注意ください。

9) キャリア形成促進助成金制度について

キャリア形成促進助成金制度では、大企業、中小企業ごとに、事業外の教育訓練施設へ派遣した場合、助成金の給付を受ける事ができます。詳細は、最寄りの都道府県労働局におたずねください。

10) 撮影について

当協会では、講習会場での撮影・録音はお断りさせて頂いておりますので、ご理解とご協力をお願い致します。

個人情報について

講習会申込書に記入されました個人情報は、講習会関係書類等の作成に使用し個人情報を順守し取り扱います。

4. 各種講習会開催要領

* 講義内容は都合により変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

レベル3コース《基礎コース》

講習会名		略称	地区	定員	期日	
全 NDT共通レベル3 (2日間コース)		K I S O	東京	50名	1月27日(水)～28日(木)	
			大阪	50名	1月18日(月)～19日(火)	
訓練内容					受講料(消費税込み)	訓練時間
《第1日目》 09:00～12:00 12:45～17:45	(講義) JIS Z 2305 認証システム・品質アспект 材料科学・製品及び製造技術に関する知識				会 員 32,076 円 非会員 35,640 円	16時間
《第2日目》 09:00～13:00 13:45～17:45	(講義) 6 NDT方法のレベル2知識 (RUS) 6 NDT方法のレベル2知識 (MPE)					



《RT部門》

レベル1コース

講習会名		略称	地区	定員	期日	
放射線透過試験レベル1 (5日間コース)		RT10	東京	32名	講義 実習	1月16日(土)～17日(日) 1月18日(月)～20日(水)
訓練内容					受講料(消費税込み)	訓練時間
《第1日目》 09:00～11:00 11:00～17:45	(講義) 歴史、目的、用語 放射線透過試験の基礎(原理)				会 員 77,760 円 非会員 86,400 円	40時間
《第2日目》 09:00～11:00 11:00～16:00 14:00～17:45	(講義) 放射線透過試験の基礎(装置、試験) 放射線透過試験での評価、報告 放射線管理					
《第3日目》 09:00～17:45	(実習) γ線の取扱(法律、構造) γ線(イリジウム模擬線源)撮影要領(管円周溶接部)					
《第4日目》 09:00～17:45	(実習) 指示書の解釈 撮影、暗室処理、観察					
《第5日目》 09:00～11:00 11:00～17:45	(実習) きずの種類と発生原因 透過写真のきずの像の分類及び実習					

備考：実習日には、試験片等を扱いますので、作業着・安全靴（スニーカータイプ可）は必要に応じ各自でご用意下さい。
ただし 更衣室はありませんのでご了承下さい。関数電卓、分類用ゲージ（JIS Z 3104,3105,G 0581）を持参下さい。



レベル2コース

講習会名		略称	地区	定員	期日	
放射線透過試験レベル2 (講義・実習6日間コース)		RT20	東京	32名	講義 実習	1月21日(木)～23日(土) 1月24日(日)～26日(火)
			大阪	32名	講義 実習	1月 5日(火)～ 7日(木) 1月 8日(金)～10日(日)
訓練内容					受講料 (消費税込み)	訓練時間
《第1日目》 09:00～17:45	(講義) 歴史、目的、用語 放射線の物理的原理と関連知識 感光材料と露出線図 幾何学的撮影配置 きずの種類と発生原因 ・溶接きず ・鋳物きず				会 員 88,452 円 非会員 98,280 円	48時間
《第2日目》 09:00～17:45	(講義) 装置 試験の事前情報 ・材料、寸法、配置 ・適用規格 ・NDT手順書 (指示書) 試験 特殊撮影 透過度計					
《第3日目》 09:00～17:45	(講義) 評価と報告 ・観察条件 ・像質 評価 (分類) と報告 品質アспект 安全管理 DR (フィルムに替わる検出器)					
《第4日目》 09:00～17:45	(実習) 特性曲線、散乱比、露出線図					
《第5日目》 09:00～17:45	(実習) γ線の取扱 (法律・構造) γ線 (イリジウム模擬線源) 撮影要領 (管円周溶接部)					
《第6日目》 09:00～17:45	(実習) 管円周溶接部の撮影、きずの像の分類					

備考：実習日には、試験片等を扱いますので、作業着・安全靴（スニーカータイプ可）は必要に応じ各自でご用意下さい。

ただし 更衣室はありませんのでご了承下さい。関数電卓、分類用ゲージ（JIS Z 3104,3105,G 0581）を持参下さい。

注）放射線透過試験レベル2講習会受講希望者へ

放射線透過試験レベル2講習会を受講される方は、放射線透過試験レベル1の資格を所有された方か、放射線透過試験レベル1の講習会を受講された方を対象にしています。

やむを得ず、直接レベル2の技術講習会に参加される方については、下記に示す操作の必須事項を、受講前までに操作が十分できるようにした上で参加されるようお願い致します。また、各所属での申込み責任者の方は、これらのことが十分に取扱いできることを確認の上、講習会に参加させて頂きますようお願い致します。

レベル2の講習会受講に際し、最低限必要な項目を以下に示します。

*** レベル2コース受講に必要な項目**

- ① X線装置の操作（特に制御器）
- ② 写真処理（現像・定着・水洗など）
- ③ X線フィルムの観察における取扱い
- ④ 濃度計の使い方

レベル3コース

講習会名		略称	地区	定員	期日	
放射線透過試験レベル3 (3日間コース)		RT30	東京	30名	1月29日(金)～31日(日)	
訓練内容					受講料(消費税込み)	訓練時間
《第1日目》 09:00～17:45	(講義) NDT(RT)の歴史、用語 物理的原理と関連知識 ・X線発生 ・ガンマ線の発生 放射線との相互利用 感光材料 幾何学的撮影配置 きずの種類と発生原因 ・溶接きず ・鋳物きず				会 員 48,600 円 非会員 54,000 円	24時間
《第2日目》 09:00～17:45	(講義) 装置 ・X線装置の構造 ・ガンマ線装置の構造 試験の事前情報 ・材料、寸法、配置 ・適用規格 ・NDT手順書 試験 ・暗室処理 ・溶接継手 ・鋳鋼品 直接撮影と透視(DR) 特殊撮影 透過度計					
《第3日目》 09:00～17:45	(講義) 評価と報告 ・観察条件 ・評価 評価(分類) ・考察 品質アспект 安全管理 開発(革新的な放射線透過試験方法)					

放射線透過試験講習会受講者への注意事項

- ① テキストの持参
- ② 分類用ゲージの持参
- ③ 関数電卓の持参

《UT部門》

レベル1コース

講習会名	略称	地区	定員	期日	
超音波探傷試験レベル1 (5日間コース)	UT10	東京 * (探傷器 R)	96名 (各組32名)	実習 第1組	1月11日 (月) ～13日 (水)
				実習 第2組	1月 8日 (金) ～10日 (日)
	大阪 * (探傷器 G)	48名 (各組24名)	実習 予備日	1月 5日 (火) ～ 7日 (木)	
			講義	1月14日 (木) ～15日 (金)	
訓練内容				受講料 (消費税込み)	訓練時間
《第1日目》 09:00～17:45	(実習) 基礎、装置の取扱、垂直探傷	会 員 77,760 円 非会員 86,400 円		40時間	
《第2日目》 09:00～17:45	(実習) 垂直探傷、斜角探傷				
《第3日目》 09:00～17:45	(実習) 斜角探傷、厚さ測定				
《第4日目》 09:00～09:30 09:30～12:00 12:45～13:45 13:45～15:15 15:15～17:45	(講義) 非破壊試験技術者の役割と安全衛生 探傷を始める前に 探傷装置・探傷装置の性能と点検・試験片 垂直探傷 斜角探傷				
《第5日目》 09:00～09:30 09:30～10:00 10:00～10:30 10:30～11:00 11:00～12:00 12:45～14:30 14:30～17:45	(講義) その他の探傷・自動探傷 NDT指示書 測定装置 (超音波厚さ測定Ⅰ) 測定準備及び測定 (超音波厚さ測定Ⅰ) 超音波厚さ測定の必要性 (超音波厚さ測定Ⅰ) 必要 JIS 規格の紹介・解説 問題演習 (UT－1 とUM－1 を解説)				

備考：実習日には、試験片等を扱いますので、作業着・安全靴（スニーカータイプ可）は必要に応じ各自でご用意下さい。
ただし 更衣室はありませんのでご了承下さい。関数電卓を持参下さい。

講習会名	略称	地区	定員	期日	
超音波厚さ測定レベル1 (2.5日間コース)	UM10	東京	32名	講義 実習	1月25日(月)～26日(火) 1月27日(水)
		大阪	24名	講義 実習	12月15日(火)～16日(水) 12月17日(木)
訓練内容				受講料(消費税込み)	訓練時間
《第1日目》 13:00～17:00	(講義) レベル1技術者の役割と安全衛生 超音波の基礎 超音波厚さ計の構造 超音波厚さ計の取り扱い 測定装置			会 員 35,040 円 非会員 38,934 円	20時間
《第2日目》 09:00～12:00 12:45～17:45	(講義) 測定 超音波厚さ測定の必要性 規格 指示書と報告書 測定時各種問題点の対応方法				
《第3日目》 09:00～09:15 09:15～10:00 10:00～11:15 11:15～11:45 12:30～13:00 13:00～13:45 13:45～14:15 14:15～14:30 14:30～15:05 15:05～15:50 15:50～16:05 16:05～17:45	(実習) 実習の目的と諸注意 超音波による厚さ測定の原理 デジタル厚さ計の取扱いと校正 デジタル厚さ計の性能の把握 異常な値が表示される現象(または本来の値が表示されない事例) 測定材中の音速が、設定音速と異なる場合 表示値のバラツキ 個別測定点による測定方法 測定線上の移動による測定方法 測定点の拡大による測定方法 厚さ測定の実践1 塗膜上からの厚さ測定(B ₁ -B _n 法による厚さ計、表示器付き厚さ計他) 厚さ測定の実践2(指示書にしたがった測定)				

備考：実習日には、試験片等を扱いますので、作業着・安全靴（スニーカータイプ可）は必要に応じ各自でご用意下さい。
ただし 更衣室はありませんのでご了承下さい。関数電卓を持参下さい。

(注) 第1日目の講習会開始時間ですが、13:00となっておりますので、お間違えの無いようにしてください。第2日目、第3日目は、通常の9:00からの開始です。

レベル2コース

講習会名	略称	地区	定員	期日	
注) 超音波探傷試験レベル2 (5日間コース)	UT20	東京 * (探傷器 R)	96名 (各組32名)	講義 実習 第1組 実習 第2組 実習 予備日	1月16日 (土) ～18日 (月) 1月19日 (火) ～20日 (水) 1月21日 (木) ～22日 (金) 1月23日 (土) ～24日 (日)
		大阪 * (探傷器 G)	48名 (各組24名)	講義 実習 第1組 実習 第2組	1月 6日 (水) ～ 8日 (金) 1月 9日 (土) ～10日 (日) 1月11日 (月) ～12日 (火)
訓練内容				受講料 (消費税込み)	訓練時間
《第1日目》 09:00～13:45 13:45～17:45	(講義) 超音波探傷試験の基礎 超音波探傷試験装置			会 員 70,956 円 非会員 78,840 円	40時間
《第2日目》 09:00～13:45 13:45～17:45	(講義) 超音波の基本と応用 探傷の実際				
《第3日目》 09:00～13:45 13:45～17:45	(講義) きずの評価 各種の管理 超音波探傷試験関連規格 NDT手順書、NDT指示書 問題演習				
《第4日目》 09:00～17:45	(実習) 垂直探傷試験				
《第5日目》 09:00～17:45	(実習) 斜角探傷試験				

備考：実習日には、試験片等を扱いますので、作業着・安全靴（スニーカータイプ可）は必要に応じ各自でご用意下さい。
ただし 更衣室はありませんのでご了承下さい。関数電卓を持参下さい。

注) 超音波探傷試験レベル2講習会受講希望者へ

超音波探傷試験レベル2講習会を受講される方は、超音波探傷試験レベル1の資格を所有された方が、超音波探傷試験レベル1の講習会を受講された方を対象にしています。

やむを得ず、直接レベル2の技術講習会に参加される方については、下記に示す操作の必須事項を、受講前までに操作が十分できるようにした上で参加されるようお願い致します。また、各所属での申込み責任者の方は、これらのことが十分に取扱いできることを確認の上、講習会に参加させていただきますようお願い致します。

レベル2の講習会受講に際し、最低限必要な操作項目を以下に示します。

* レベル2コース受講に必要な操作項目

〔垂直探傷〕

- ① 測定範囲の調整 ② 感度の調整 ③ きずの位置測定

〔斜角探傷〕

- ① 入射点の測定 ② 測定範囲の調整 ③ 屈折角の測定 ④ 反射源の位置測定 ⑤ エコー高さ区分線の作成

超音波技術講習会受講者についての注意事項

長い爪での受講注意：超音波探傷器操作上、パットが損傷する恐れがありますので、長い爪での受講はご遠慮下さい。

* 探傷器タイプ Gタイプ、Rタイプの詳細はHPを参照して下さい。

レベル3コース

講習会名		略称	地区	定員	期日	
超音波探傷試験レベル3 (3日間コース)		UT30	東京	30名	1月30日(土)～2月 1日(月)	
訓練内容				受講料(消費税込み)		訓練時間
《第1日目》 09:00～11:30 11:30～14:45 14:45～17:45	(講義) 超音波の伝搬と音場 きずによる超音波の反射(途中45分休憩) きずの評価			会 員 48,600 円 非会員 54,000 円		24時間
《第2日目》 09:00～10:30 10:30～13:45 13:45～15:45 15:45～17:45	(講義) 超音波探傷における適用法の選択 探傷装置、新しい探傷技術(途中45分休憩) 新しい探傷システム、特殊な探傷の応用例 品質保証と技術文書					
《第3日目》 09:00～12:00 12:45～15:15 15:15～17:45	(講義) 各種成品の超音波探傷検査 各種溶接構造物の超音波探傷試験Ⅰ 各種溶接構造物の超音波探傷試験Ⅱ					



《MT部門》

レベル1コース

講習会名		略称	地区	定員	期日		
磁気探傷試験レベル1 (2日間コース)		MT10	東京	64名 (各組32名)	講義	1月20日(水)	
					実習 第1組	1月21日(木)	
			大阪	64名 (各組32名)	実習 予備日	1月22日(金)	
					講義	1月11日(月)	
				実習 第1組	1月12日(火)		
				実習 予備日	1月13日(水)		
訓練内容					受講料(消費税込み)		訓練時間
《第1日目》 09:00～12:00	(講義) 磁気探傷試験に必要な基礎知識 磁気探傷試験で対象となるきずの種類 試験に必要な磁化機器と材料 A型及びC型標準試験片 各種磁気探傷試験 各種磁化方法及び問題演習	会 員 30,132 円 非会員 33,480 円			16時間		
12:45～17:45	(実習) コイル式・通電式磁気探傷装置、極間式探傷器						

備考：実習日には、試験片等を扱いますので、作業着・安全靴（スニーカータイプ可）は必要に応じ各自でご用意下さい。
ただし 更衣室はありませんのでご了承下さい。

注) 限定NDT方法のMC・ME・MYレベル1を受験される方は、このコースを受講して下さい。

レベル2コース

講習会名		略称	地区	定員	期日	
注) 磁気探傷試験レベル2 (3日間コース)	MT20	東京	64名 (各組32名)	講義	1月23日(土)～24日(日)	
				実習 第1組	1月25日(月)	
		大阪	64名 (各組32名)	実習 予備日	1月26日(火)	
				講義	1月14日(木)～15日(金)	
				実習 第1組	1月16日(土)	
				実習 予備日	1月17日(日)	
訓練内容				受講料(消費税込み)		訓練時間
《第1日目》 09:00～13:00 13:45～14:45 14:45～17:45	(講義) 磁気探傷試験の基礎 磁気探傷試験装置と試験材料 磁気探傷試験の実際			会 員 40,824 円 非会員 45,360 円		24時間
《第2日目》 09:00～11:00 11:00～12:00 12:45～14:45 14:45～17:45	(講義) 材料・溶接及び欠陥検出に関する基礎知識 NDT指示書 磁気探傷試験法の管理と安全衛生 問題演習					
《第3日目》 09:00～17:45	(実習) 極間式探傷器、定置式磁化装置					

備考：実習日には、試験片等を扱いますので、作業着・安全靴（スニーカータイプ可）は必要に応じ各自でご用意下さい。
ただし 更衣室はありませんのでご了承下さい。

注1) 限定NDT方法の極間法レベル2を受験される方は、上記磁気探傷試験レベル2を受講して下さい。

注2) 磁気試験レベル2講習会受講希望者へ

磁気探傷試験レベル2講習会を受講される方は、磁気探傷試験レベル1の資格を所有された方か、磁気探傷試験レベル1の講習会を受講された方を対象にしています。

やむを得ず、直接レベル2の技術講習会に参加される方については、受講前までに下記の基本操作が十分できるようにした上で参加されるようお願い致します。また、各所属での申込み責任者の方は、これらのことを十分に確認の上、講習会に参加させて頂きまますようお願い致します。

* レベル2コース受講に必要な基本操作項目

〔極間法による磁気探傷試験〕

- ① 検査液の適用方法（オイラー使用） ② A形標準試験片の取扱い ③ 探傷有効範囲の測定
④ 溶接試験片などによる探傷操作 ⑤ きず磁気模様の判別

レベル3コース

講習会名		略称	地区	定員	期日	
磁気探傷試験レベル3 (3日間コース)		MT30	東京	30名	1月29日(金)～31日(日)	
訓練内容					受講料(消費税込み)	訓練時間
《第1日目》 09:00～11:00 11:00～12:00 12:45～16:00 16:00～17:45	(講義) 磁気探傷法のための電磁気の基礎 きずからの漏洩磁束密度(漏洩磁束探傷法を含む) 磁気探傷試験の基本 磁気模様の観察ときずの評価法				会 員 48,600 円 非会員 54,000 円	24時間
《第2日目》 09:00～10:30 10:30～12:00 12:45～14:00 14:00～15:00 15:00～17:45	(講義) 磁気探傷試験の実際(鋳鍛鋼品) 磁気探傷試験の実際(溶接部) 探傷装置、探傷用補材とその管理 NDT手順書の作成 問題演習					
《第3日目》 09:00～12:00 12:45～17:45	(講義) 機器構造物に発生するきずの種類と発生機構 [実演講習] 磁気特性の測定(BH曲線、きず漏洩磁束、極間法) 最適磁化条件設定法 (熱処理、磁束密度、コントラスト)					



《PT部門》

レベル1コース

講習会名		略称	地区	定員	期日	
浸透探傷試験レベル1 (2日間コース)		PT10	東京	180名 (各組48名)	講義	1月 5日 (火)
					実習 第1組	1月 6日 (水)
					実習 第2組	1月 7日 (木)
					実習 第3組	1月 8日 (金)
					実習 予備日	1月 9日 (土)
		大阪	144名 (各組48名)	講義	1月20日 (水)	
実習 第1組	1月21日 (木)					
実習 第2組	1月22日 (金)					
実習 第3組	1月23日 (土)					
訓練内容					受講料 (消費税込み)	訓練時間
《第1日目》 09:00～11:00 11:00～13:00 13:45～15:45 15:45～17:45	(講義) 浸透探傷試験の基礎 溶剤除去性浸透探傷試験 水洗性・後乳化性浸透探傷試験 問題演習	会 員 31,104 円 非会員 34,560 円			16時間	
《第2日目》 09:00～17:45	(実習) 水洗性・後乳化性浸透探傷試験 溶剤除去性浸透探傷試験					

備考： 実習日には、試験片等を扱いますので、作業着・安全靴（スニーカータイプ可）は必要に応じ各自でご用意下さい。
ただし 更衣室はありませんのでご了承下さい。

鉛筆、赤青色鉛筆をご持参下さい。

注）限定NDT方法のPW・PDレベル1を受験される方は、このコースを受講して下さい。

レベル2コース

講習会名		略称	地区	定員	期日	
浸透探傷試験レベル2 (3日間コース)		PT20	東京	180名 (各組48名)	講義	1月11日(月)～12日(火)
					実習 第1組	1月13日(水)
					実習 第2組	1月14日(木)
					実習 第3組	1月15日(金)
					実習 予備日	1月16日(土)
		大阪	144名 (各組48名)	講義	1月25日(月)～26日(火)	
実習 第1組	1月27日(水)					
実習 第2組	1月28日(木)					
実習 第3組	1月29日(金)					
訓練内容					受講料(消費税込み)	訓練時間
《第1日目》 09:00～10:00 10:00～12:15 13:00～17:45	(講義) 浸透探傷試験の基礎(Ⅰ) 浸透探傷試験の基礎(Ⅱ) 探傷技術				会 員 48,600 円 非会員 54,000 円	24時間
《第2日目》 09:00～11:00 11:00～12:00 12:45～14:45 14:45～17:45	(講義) 材料・溶接及び欠陥検出に関する基礎知識 NDT指示書 管理、安全衛生、各種文書の定義と作成要領 問題演習					
《第3日目》 09:00～17:45	(実習) 染色浸透探傷試験及び管理、現像法と欠陥指示模様 水洗性・後乳化性蛍光浸透探傷試験					

備考： 実習日には、試験片等を扱いますので、作業着・安全靴（スニーカータイプ可）は必要に応じ各自でご用意下さい。
ただし 更衣室はありませんのでご了承下さい。

鉛筆、赤青色鉛筆をご持参下さい。

注）限定NDT方法の溶剤除去性レベル2を受験される方は、上記浸透探傷試験レベル2を受講して下さい。

レベル3コース

講習会名		略称	地区	定員	期日	
浸透探傷試験レベル3 (3日間コース)		PT30	東京	30名	1月29日(金)～31日(日)	
訓練内容					受講料(消費税込み)	訓練時間
《第1日目》 09:00～12:30 13:15～17:45	(講義) 浸透探傷試験を行うための表面準備 探傷剤の種類と性質 浸透探傷試験における界面現象				会 員 48,600 円 非会員 54,000 円	24時間
《第2日目》 09:00～12:30 13:15～17:45	(講義) 浸透液の挙動 浸透探傷試験の指示模様の観察に影響を与える因子 対比試験片 浸透探傷試験の手順書の作成 特殊な浸透探傷法					
《第3日目》 09:00～12:30 13:15～17:45	(講義) 機器構造物に発生するきずの種類と発生機構 〔実演講習〕 浸透液の現像塗膜 浸透液の界面張力 メニスカス法による黒点径と染料濃度 試験体の表面状態と浸透液のぬれ性 水洗性浸透液の性質 紫外線、温度が蛍光浸透液の蛍光輝度に及ぼす影響					



《ET部門》

レベル1コース

講習会名		略称	地区	定員	期日	
渦電流探傷試験レベル1 (5日間コース)		E T 1 0	東京	2 4名	講義 実習	1月 5日 (火) ～ 7日 (木) 1月 8日 (金) ～ 9日 (土)
			大阪	2 4名	講義 実習	1月18日 (月) ～20日 (水) 1月21日 (木) ～22日 (金)
訓練内容					受講料 (消費税込み)	訓練時間
《第1日目》 09:00～10:00 10:00～12:00 12:45～17:45	(講義) 渦電流探傷試験の概要 渦電流探傷試験の基礎Ⅰ 渦電流探傷試験の基礎Ⅱ				会 員 67,068 円 非会員 74,520 円	4 0時間
《第2日目》 09:00～12:00 12:45～14:45 14:45～17:45	(講義) 渦電流探傷試験の基礎Ⅲ 試験コイル 渦電流探傷試験					
《第3日目》 09:00～12:00 12:45～13:15 13:15～15:45 15:45～17:45	基礎実験 (インピーダンス測定など) (講義) 対比試験片 渦電流探傷試験の実験Ⅰ 渦電流探傷試験の実験Ⅱ					
《第4日目》 09:00～11:00 11:00～12:00 12:45～17:45	(講義) 文章類 電磁誘導を利用したその他の試験 (実習) 内挿コイル・貫通コイル・上置コイル					
《第5日目》 09:00～17:45	(実習) 内挿コイル・貫通コイル・上置コイル					

備考：実習日には、試験片等を扱いますので、作業着・安全靴（スニーカータイプ可）は必要に応じ各自でご用意下さい。
ただし 更衣室はありませんのでご了承下さい。関数電卓を持参下さい。



レベル2コース

講習会名		略称	地区	定員	期日	
渦電流探傷試験レベル2 (6日間コース)		E T 2 0	東京	2 4名	講義 実習	1月10日(日)～13日(水) 1月14日(木)～15日(金)
			大阪	2 4名	講義 実習	1月23日(土)～26日(火) 27日(水)～28日(木)
訓練内容					受講料 (消費税込み)	訓練時間
《第1日目》 09:00～12:00 12:45～17:45	(講義) 渦電流探傷試験の概要 電磁気の基礎 (1) 電磁気の基礎 (2) 金属の磁氣的性質				会 員 81,648 円 非会員 90,720 円	4 8時間
《第2日目》 09:00～12:00 12:45～17:45	(講義) 渦電流探傷試験の基礎 試験コイル・探傷装置					
《第3日目》 09:00～12:00 12:45～17:45	(講義) 基礎実験 (原理・装置) 渦電流探傷試験方法 (1)					
《第4日目》 09:00～12:00 12:45～17:45	(講義) 渦電流探傷試験方法 (2) その他の電磁誘導試験 規格及び文章類 指示書					
《第5日目》 09:00～17:45	(実習) 渦電流探傷器の取り扱い 貫通コイルによる探傷 位相によるきずSN比の変化 フィルター・コイルの充填率					
《第6日目》 09:00～17:45	(実習) 内挿コイル・貫通コイル・上置コイル					

備考：実習日には、試験片等を扱いますので、作業着・安全靴（スニーカータイプ可）は必要に応じ各自でご用意下さい。
ただし 更衣室はありませんのでご了承下さい。関数電卓を持参下さい。



《ST部門》

レベル1コース

講習会名	略称	地区	定員	期日	
ひずみゲージ試験レベル1 (2日間コース)	ST10	東京	24名	1月 6日(水)～7日(木)	
訓練内容				受講料(消費税込み)	訓練時間
《第1日目》 09:00～12:00 12:45～17:45	(講義) NDTの目的、概要、専門用語 試験方法の物理的な原理と関連知識 試験対象に関する知識と材料強度 装置と変換器			会 員 30,132 円 非会員 33,480 円	16時間
《第2日目》 09:00～11:30 12:15～17:45	(講義) 試験実施前の準備・品質アспект・環境および安全条件 (実習) ・試験実施前の準備および試験 ・評価と報告				

備考：実習日には、試験片等を扱いますので、作業着・安全靴（スニーカータイプ可）は必要に応じ各自でご用意下さい。
ただし 更衣室はありませんのでご了承下さい。

レベル2コース

講習会名	略称	地区	定員	期日	
ひずみゲージ試験レベル2 (3日間コース)	ST20	東京	24名	1月 8日(金)～10日(日)	
訓練内容				受講料(消費税込み)	訓練時間
《第1日目》 09:00～12:00 12:45～17:45	(講義) NDTの目的、概要、専門用語 試験方法の物理的な原理と関連知識 試験対象に関する知識と材料強度 装置と変換器①			会 員 40,824 円 非会員 45,360 円	24時間
《第2日目》 09:00～12:00 12:45～17:45	(講義) 装置と変換器② 試験実施前の準備(指示書) 試験実施前の準備 安全性の評価 品質アспект 環境および安全条件 ひずみ試験前の注意事項				
《第3日目》 09:00～17:45	(実習) ・試験実施前の準備および試験 ・評価と報告				

備考：実習日には、試験片等を扱いますので、作業着・安全靴（スニーカータイプ可）は必要に応じ各自でご用意下さい。
ただし 更衣室はありませんのでご了承下さい。

5. 各支部講習会予定（*支部主催の講習会については、直接各支部へお問い合わせ下さい。）

東北支部 問合せ先 TEL:022-279-7862 FAX:022-279-7863 ホームページ: <http://jsndi-tohoku.jp/>

月日		科目		受講料	時間	会場
H27	9月3・4日	学・実	UT 入門コース	会 員:31,800 円 非会員:34,650 円	9:00～17:45	宮城県産業技術 総合センター
	9月3・4日	学科	UT L2・MT L2	会 員:21,600 円 非会員:23,800 円		
	9月5・6日	学科	UT L1・PT L2			
	11月28・29日	実技	PT L2	会 員:21,600 円 非会員:23,800 円	13:00～17:45 (1日目) 9:00～17:45 (2日目)	
	12月2日	学・実	UT 基礎コース (1日)	会 員:21,600 円 非会員:23,800 円	9:00～17:45	
	12月3・4日	実技	UT L1 (G・R-2日)	会 員:43,200 円 非会員:47,500 円		
	12月5～7日	実技	UT L2 (G・R-3日)	未定		
H28	3月上旬	学・実	UT 入門コース	会 員:31,800 円 非会員:34,650 円		
		学科	UT L1・L2 PT・MT・RT L2	会 員:21,600 円 非会員:23,800 円		

中部支部 問合せ先 TEL:052-228-6223 FAX:052-228-6224 ホームページ <http://www.jsndi-chubu.jp/>

浸透探傷レベル1 技術講習会(PT1) (受験に必要な訓練時間→16時間)

開催日(曜)	科目	訓練時間	訓練記録	受講料(税込)	定員	開催場所
10/9(金)	学科	8時間	有	学実2日間 正会員 ¥27,720 非会員 ¥30,800	40名	日本非破壊検査協会 中部支部
10/10(土)又は11(日)	実技	8時間	有		各20名	

実技受講日については、先着順となります

浸透探傷レベル2技術講習会(PT2) (受験に必要な訓練時間→レベル1有資格者の場合は24時間、無資格者の場合は40時間)

開催日(曜)	科目	訓練時間	訓練記録	受講料(税込)	定員	開催場所
10/15・16(木・金)	学科	16時間	有	学実3日間 正会員 ¥36,990 非会員 ¥41,100	40名	日本非破壊検査協会 中部支部
10/17(土)又は18(日)	実技	8時間	有		各20名	

①新規でPT2を受験される方は、PT1(16時間)とPT2(24時間)を受講してください

②実技受講日については、先着順となります

磁気探傷レベル1 技術講習会(MT1) (受験に必要な訓練時間→16時間)

開催日(曜)	科目	訓練時間	訓練記録	受講料(税込)	定員	開催場所
9/22(火)	学科	8時間	有	学実2日間 正会員 ¥27,720 非会員 ¥30,800	40名	日本非破壊検査協会 中部支部
9/23(水)又は26(土)	実技	8時間	有			

実技受講日については、先着順となります

浸透探傷レベル2 技術講習会(MT2) (受験に必要な訓練時間→レベル1有資格者の場合は24時間、無資格者の場合は40時間)

開催日(曜)	科目	訓練時間	訓練記録	受講料(税込)	定員	開催場所
10/1・2(木・金)	学科	16時間	有	学実3日間 正会員 ¥36,990 非会員 ¥41,100	40名	日本非破壊検査協会 中部支部
10/3(土)又は4(日)	実技	8時間	有			

①新規でMT2を受験される方は、MT1(16時間)とMT2(24時間)を受講してください

②実技受講日については、先着順となります

超音波探傷レベル1 技術講習会(UT1) (受験に必要な訓練時間→40 時間)

開催日(曜)	科目	訓練時間	訓練記録	受 講 料 (税込)		定員	開催場所
12/21・22(月・火)	学科	16 時間	有	学実5 日間 正会員 ¥63,810 非会員 ¥70,900		40 名	日本非破壊検査協会 中部支部
1 回目 12/18～20(金～日)	実技 (G タイプ)	24 時間	有			各 20 名	
2 回目 12/11～13(金～日)						各 20 名	

実技受講日については、先着順となります

超音波探傷レベル2 技術講習会(UT2) (受験に必要な訓練時間→レベル1 有資格者の場合は 80 時間、無資格者の場合は 120 時間)

開催日(曜)	科目	訓練時間	訓練記録	受 講 料 (税込)	定員	開催場所
1/9～11(土～月)	学科	24 時間	有	学実5 日間 正会員 ¥63,810 非会員 ¥70,900	40 名	日本非破壊検査協会 中部支部
1 回目 1/16・17(土・日)	実技 (G タイプ)	16 時間	有		各 20 名	
2 回目 1/18・19(月・火)			有		各 20 名	

実技受講日については、先着順となります

超音波厚さ測定 技術講習会(UM1) (受験に必要な訓練時間→20 時間)

開催日(曜)	科目	訓練時間	訓練記録	受 講 料 (税込)	定員	開催場所
11/27(金)	学科	8 時間	有	学実3 日間 正会員 ¥36,990 非会員 ¥41,100	20 名	日本非破壊検査協会 中部支部
11/28(土)	実技	8 時間	有			
11/29(日)		8 時間	有			

実技講習会

開催日(曜)	科目	時間	訓練記録	受 講 料 (税込)	定員	開催場所
10/27(火)又は28(水)	MT1	9時～17時	なし	¥28,800(正会員・非会員)	20 名	日本非破壊検査協会 中部支部
10/29(木)又は30(金)	MT2	9時～17時	なし	¥28,800(正会員・非会員)	20 名	
11/2(月)又は3(火)	PT1	9時～17時	なし	¥28,800(正会員・非会員)	各 20 名	
11/4(水)又は5(木)	PT2	9時～17時	なし	¥28,800(正会員・非会員)	各 20 名	
11/22・23(日・月) Gタイプ	UT1	9時～17時	なし	¥49,300(正会員・非会員)	各 20 名	
11/20・21(金・土) Rタイプ	UT1	9時～17時	なし	¥49,300(正会員・非会員)	各 20 名	
11/13～15(金～日) Rタイプ	UT2	9時～17時	なし	¥71,000(正会員・非会員)	各 20 名	
11/10～12(火～木) Gタイプ	UT2	9時～17時	なし	¥71,000(正会員・非会員)	各 20 名	
11/25(水)	UM1	9時～17時	なし	¥28,800(正会員・非会員)	14 名	
11/17(火)	ET1・2	9時～17時	なし	¥28,800(正会員・非会員)	10 名	

PT1・PT2・MT1・MT2 の受講日につきましては先着順となります

学科講習会

開催日(曜)	科目	時間	訓練記録	受 講 料 (税込)	定員	開催場所
3/3(木)	MT1	9時～12時	なし	¥11,400(正会員・非会員)	30 名	日本非破壊検査協会 中部支部
	MT2	13時～16時	なし		30 名	
3/4(金)	UT1	9時～12時	なし		30 名	
	UT2	13時～16時	なし		30 名	
3/5(土)	PT1	9時～12時	なし		30 名	
	PT2	13時～16時	なし		30 名	

詳細については、ホームページを参照していただくか、支部まで直接お問合せ願います。

中部支部ホームページ <http://www.jsndi-chubu.jp/>

1次 試験対策講習会

実施時期：秋期 平成28年3月 日程は後日発表

部 門：受験者対象 UT レベル1 (2日間)、レベル2 (2日間)、
PT レベル2 (2日間)、MT レベル2 (2日間)

再認証受験者対象 UT レベル1は2日間、UT レベル2、PT レベル2、MT レベル2 は専門問題解説の1日間
より新規受験者と同じく、2日間を受講するのが望ましい

募集人数：各部門とも合計60名

受 講 料：JSNDI 会員（団体会員含む）1日受講 11,000円、2日受講 22,000円
非会員 1日受講 13,000円 2日受講 24,000円

会 場：非破壊検査ビル（大阪市中央区北久宝寺 町2-3-6）

人数が極端に少ないときには、その部門の講習 は中止することがある。

実技補習講習会

本部のUT 実技講習会受講修了者を対象として、実技試験直前の補習講習会を実施する

実施時期：本部の実技試験の1週間前付近

秋期 平成27年11月下旬 土曜、日曜日 各半日実施

午前クラス 9:00 ～ 12:30

午後クラス 13:30 ～ 17:00

レベルと探傷器のタイプ（R：菱電、G：GE）

レベル	午前コース	午後コース
レベル1	R	R
	G	G
レベル2	R	R
	G	G

受 講 料：会員 11,000円／半日 非会員 13,000円／半日

募集人数：各組 8名（最大16名まで）

会 場：非破壊検査ビル 5F（大阪市中央区北久宝寺町2-3-6）

1. コース：超音波探傷試験レベル1・2（二次試験・実技対策）

（公社）九州機械工業振興会との共催

2. 日 程：10月下旬予定

3. 会 場：（公社）九州機械工業振興会

4. 定 員：15名

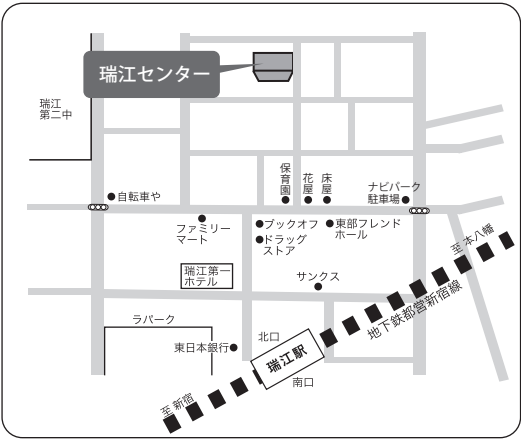
6. 講習会会場案内（予定）

地 区	会 場
東京	一般社団法人 日本非破壊検査協会 亀戸センター 〒136-0071 東京都江東区亀戸2-25-14 立花アネックスビル
	一般社団法人 日本非破壊検査協会 瑞江センター 〒132-0011 東京都江戸川区瑞江2-11-9
大阪	一般財団法人 電子科学研究所 会議室 〒541-0057 大阪市中央区北久宝寺町2-3-6 非破壊検査ビル
	一般社団法人 日本非破壊検査協会 堺筋センター 〒541-0059 大阪市中央区博労町2-2-23 大阪堺筋ビル

*** 会場変更の場合がありますので、受講券受け取り時には必ずご確認ください。**

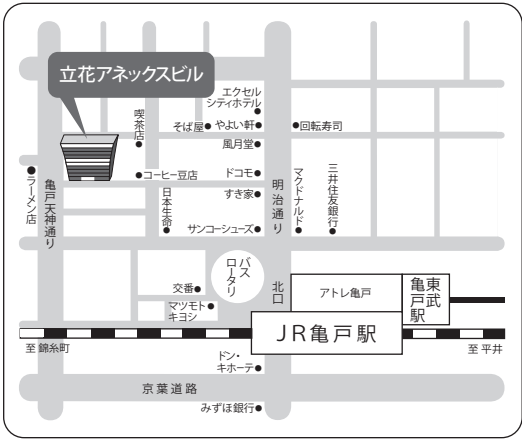
一般社団法人 日本非破壊検査協会
瑞江センター

都営新宿線「瑞江駅」下車、北口より徒歩 約3分



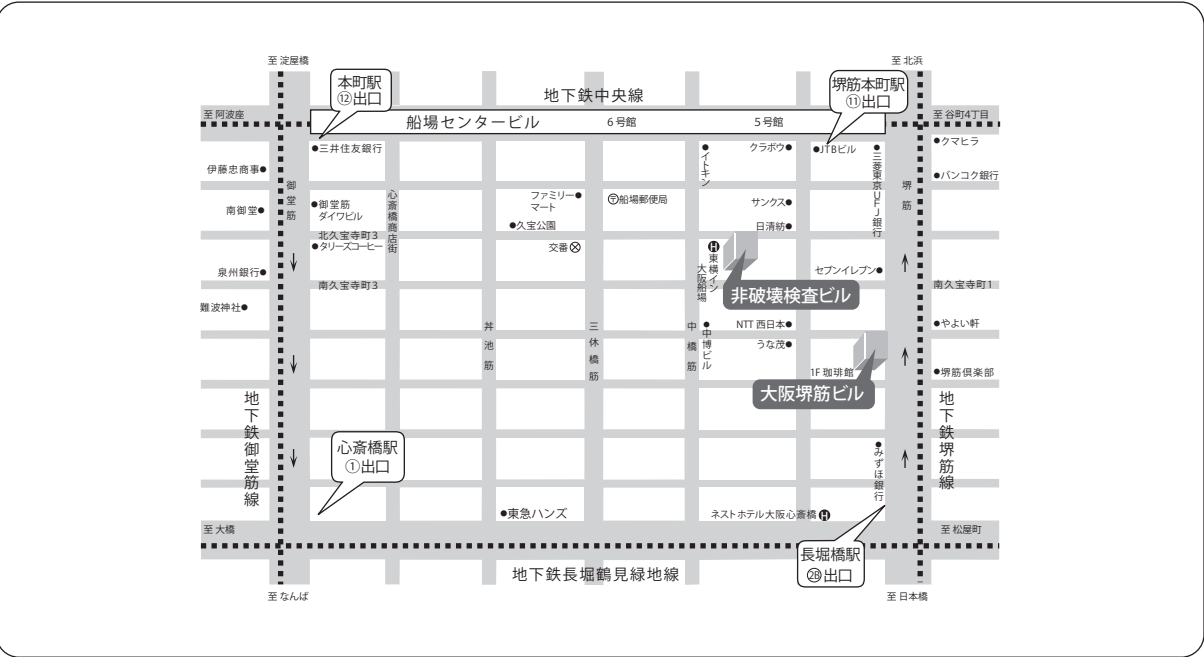
一般社団法人 日本非破壊検査協会
亀戸センター 立花アネックスビル

JR総武線・東武亀戸線「亀戸駅」下車、北口より徒歩 約5分



一般財団法人 電子科学研究所
非破壊検査ビル

堺筋線・中央線「堺筋本町駅」下車、徒歩 約5分、
御堂筋線「本町駅」下車、徒歩 約10分



7. 講習会書籍一覧

全NDT共通レベル3（基礎コース）

使用書籍：○ 参考書籍：△（消費税込価格）

書 籍 名	年版	書 籍 略 称	書 籍 コード	定 価	会 員 格	レベ ル 3
非破壊試験技術総論	2004	総 論	300134	5,040	4,628	○
非破壊試験技術者のための金属材料入門	1998	金 入	301138	1,440	1,338	○
非破壊試験技術者のための金属材料概論	2008	金 概	301107	2,880	2,675	○
レベル3技術者のための材料科学及び認証システムに関する問題集	2015	L3問15	300237	1,749	1,645	○
JIS Z 2305:2013 非破壊試験技術者の資格及び認証	2013	JIS13	623053	3,240	2,916	○

放射線検査関連書籍

書 籍 名	年版	書 籍 略 称	書 籍 コード	定 価	会 員 格	レベ ル 1	レベ ル 2	レベ ル 3
非破壊試験技術総論	2004	総 論	300134	5,040	4,628			
非破壊試験技術者のための金属材料入門	1998	金 入	301138	1,440	1,338		△	
非破壊試験技術者のための金属材料概論	2008	金 概	301107	2,880	2,675			
レベル3技術者のための材料科学及び認証システムに関する問題集	2015	L3問15	300237	1,749	1,645			
放射線透過試験Ⅰ	2006	放 Ⅰ	311116	2,366	2,160	○	○	
放射線透過試験Ⅱ	2006	放 Ⅱ	311120	3,600	3,291		○	
放射線透過試験Ⅲ	2015	放 Ⅲ	311130	11月発売予定				○
放射線透過試験問題集	1999	放 問	311206	5,040	4,628	○	○	○
放射線透過試験実験法	1987	放 実	311308	1,749	1,645	△	○	
放射線透過試験技術に関する写真及び解説	2006	放 写	310446	4,526	4,114	○	○	○
中性子ラジオグラフィ写真集	1995	中ラ写	311466	4,731	4,320	△	△	
放射線の安全取扱い	2009	放 安	311317	3,291	2,982	△	△	
鋳鋼品放射線透過写真きずの像の分類用ゲージ	—	鋳放ゲ	120581	1,286	1,183	○	○	
鋼溶接継手放射線透過写真きずの像の分類用ゲージ	—	鋼放ゲ	123104	822	772	○	○	
アルミニウム溶接継手放射線・きずの像の分類用ゲージ	—	ア放ゲ	123105	822	772	○	○	
JIS Z 2305:2013 非破壊試験技術者の資格及び認証	2013	JIS13	623053	3,240	2,916	△	△	
J I Sハンドブック「非破壊検査」2015	2015	非 ハ	600018	9,072	8,229		△	△
詳解 非破壊検査ガイドブック	2012	非 ガ	600562	2,916	2,675	○	○	○
工業分野におけるデジタルラジオグラフィの基礎とその適用	2014	工業DR	611135	3,900	3,700	△	○	○

超音波検査関連書籍

書 籍 名	年版	書 籍 略 称	書 籍 コード	定 価	会 員 格	レベ ル 1	レベ ル 2	レベ ル 3	UM 厚さ
非破壊試験技術総論	2004	総 論	300134	5,040	4,628				
非破壊試験技術者のための金属材料入門	1998	金 入	301138	1,440	1,338		△		
非破壊試験技術者のための金属材料概論	2008	金 概	301107	2,880	2,675				
レベル3技術者のための材料科学及び認証システムに関する問題集	2015	L3問15	300237	1,749	1,645				
超音波探傷試験Ⅰ	1999	超 Ⅰ	321111	2,880	2,675	○	△		
超音波探傷試験Ⅱ	2000	超 Ⅱ	321121	4,731	4,320		○		
超音波探傷試験Ⅲ	2001	超 Ⅲ	321130	5,965	5,451			○	
超音波厚さ測定Ⅰ	2009	超厚Ⅰ	322116	3,086	2,777	○	△		○
超音波探傷試験問題集	2002	超 問	321205	5,760	5,246	○	○	○	○
超音波探傷試験実技参考書「デジタル超音波探傷器」編	2009	超実デ	321308	5,658	5,142	○	○		
各種成品及び溶接構造物の超音波探傷試験	2004	各 超	321570	5,965	5,451		○	○	
鉄骨溶接部の超音波探傷試験実施マニュアル	1999	鉄超マ	321589	4,114	3,703		△		
超音波探傷入門（パソコンによる実技演習） D L版「デジタル超音波探傷器」編	2013	超入デ	321563	5,142	4,628	○	○		△
JIS Z 2305:2013 非破壊試験技術者の資格及び認証	2013	JIS13	623053	3,240	2,916	△	△		△
J I Sハンドブック「非破壊検査」2015	2015	非 ハ	600018	9,072	8,229		△	△	
詳解 非破壊検査ガイドブック	2012	非 ガ	600562	2,916	2,675			△	

磁気検査関連書籍

書 籍 名		年 版	書 籍 略 称	書 籍 コード	定 価	会 員 価 格	レベル 1	レベル 2	レベル 3
共通	非破壊試験技術総論	2004	総 論	300134	5,040	4,628			
	非破壊試験技術者のための金属材料入門	1998	金 入	301138	1,440	1,338		○	
	非破壊試験技術者のための金属材料概論	2008	金 概	301107	2,880	2,675			
	レベル3 技術者のための材料科学及び認証システムに関する問題集	2015	L3問15	300237	1,749	1,645			
磁粉関係	磁粉探傷試験Ⅰ	2007	磁 Ⅰ	331118	2,057	1,852	○	○	
	磁粉探傷試験Ⅱ	2007	磁 Ⅱ	331128	3,498	3,189		○	
	磁粉探傷試験Ⅲ	2009	磁 Ⅲ	331138	3,703	3,394			○
	磁粉探傷試験問題集	2009	磁 問	331203	4,114	3,703	○	○	○
	磁粉探傷試験実技参考書	2012	磁 実	331310	4,114	3,703	○	○	○
	鉄鋼材料の磁粉及び浸透探傷試験による欠陥指示模様の参考写真集	1991	磁浸写	330442	2,777	2,571	△	○	○
他	JIS Z 2305:2013 非破壊試験技術者の資格及び認証	2013	JIS13	623053	3,240	2,916	△	△	
	J I S ハンドブック「非破壊検査」2015	2015	非 ハ	600018	9,072	8,229		△	△
	詳解 非破壊検査ガイドブック	2012	非 ガ	600562	2,916	2,675			△

浸透検査関連書籍

書 籍 名		年 版	書 籍 略 称	書 籍 コード	定 価	会 員 価 格	レベル 1	レベル 2	レベル 3
共通	非破壊試験技術総論	2004	総 論	300134	5,040	4,628			
	非破壊試験技術者のための金属材料入門	1998	金 入	301138	1,440	1,338		○	
	非破壊試験技術者のための金属材料概論	2008	金 概	301107	2,880	2,675			
	レベル3 技術者のための材料科学及び認証システムに関する問題集	2015	L3問15	300237	1,749	1,645			
浸透関係	浸透探傷試験Ⅰ	2004	浸 Ⅰ	332116	2,880	2,675	○	○	
	浸透探傷試験Ⅱ	2005	浸 Ⅱ	332128	3,703	3,394		○	
	浸透探傷試験Ⅲ	2008	浸 Ⅲ	332136	2,160	1,954			○
	浸透探傷試験問題集	2010	浸 問	332202	5,451	4,937	○	○	○
	浸透探傷試験実技参考書	2015	浸 実	332310	2,592	2,376	○	○	○
	鉄鋼材料の磁粉及び浸透探傷試験による欠陥指示模様の参考写真集	1991	磁浸写	330442	2,777	2,571	△	○	○
他	JIS Z 2305:2013 非破壊試験技術者の資格及び認証	2013	JIS13	623053	3,240	2,916	△	△	
	J I S ハンドブック「非破壊検査」2015	2015	非 ハ	600018	9,072	8,229		△	△
	詳解 非破壊検査ガイドブック	2012	非 ガ	600562	2,916	2,675			△

渦電流検査関連書籍

書 籍 名		年 版	書 籍 略 称	書 籍 コード	定 価	会 員 価 格	レベル 1	レベル 2	レベル 3
共通	非破壊試験技術総論	2004	総 論	300134	5,040	4,628			
	非破壊試験技術者のための金属材料入門	1998	金 入	301138	1,440	1,338		△	
	非破壊試験技術者のための金属材料概論	2008	金 概	301107	2,880	2,675			
	レベル3 技術者のための材料科学及び認証システムに関する問題集	2015	L3問15	300237	1,749	1,645			
渦流関係	渦電流探傷試験Ⅰ	2008	渦 Ⅰ	333116	2,880	2,675	○	△	
	渦流探傷試験Ⅱ	1995	渦 Ⅱ	333126	2,777	2,571		○	
	渦流探傷試験Ⅲ	2003	渦 Ⅲ	333131	6,377	5,760			○
	渦流探傷試験問題集	2002	渦 問	333202	4,012	3,703	○	○	○
	渦電流探傷試験実技参考書	2008	渦 実	333310	3,600	3,291	○	○	
	JIS Z 2305:2013 非破壊試験技術者の資格及び認証	2013	JIS13	623053	3,240	2,916	△	△	
他	J I S ハンドブック「非破壊検査」2015	2015	非 ハ	600018	9,072	8,229		△	△
	詳解 非破壊検査ガイドブック	2012	非 ガ	600562	2,916	2,675			△

ひずみゲージ関連書籍

書 籍 名		年 版	書 籍 略 称	書 籍 コード	定 価	会 員 価 格	レベル 1	レベル 2	レベル 3
共通	非破壊試験技術総論	2004	総 論	300134	5,040	4,628			
	非破壊試験技術者のための金属材料入門	1998	金 入	301138	1,440	1,338		△	
	非破壊試験技術者のための金属材料概論	2008	金 概	301107	2,880	2,675			
	レベル3技術者のための材料科学及び認証システムに関する問題集	2015	L3問15	300237	1,749	1,645			
ひずみ関係	ひずみ測定Ⅰ	2007	ひ Ⅰ	341110	2,057	1,852	○	○	
	ひずみ測定Ⅱ	2007	ひ Ⅱ	341128	2,880	2,675		○	
	ひずみ測定Ⅲ	2009	ひ Ⅲ	341138	2,880	2,675			○
	ひずみ測定問題集	2009	ひ 問	341204	4,835	4,423	○	○	○
他	JIS Z 2305:2013 非破壊試験技術者の資格及び認証	2013	JIS13	623053	3,240	2,916	△	△	
	J I S ハンドブック「非破壊検査」2015	2015	非 ハ	600018	9,072	8,229		△	△
	詳解 非破壊検査ガイドブック	2012	非 ガ	600562	2,916	2,675			△

注意：赤字の書籍は2015年改訂版です。すでに書籍をお持ちの方は、年版をご確認下さい。

【梱包発送費】 書籍・分類ゲージの数量により下記のようになります（梱包発送費内に消費税は含まれております）

- ① 書籍・JIS 1冊の場合 370円
 2冊以上の場合 （冊数×120円）＋320円
 同一書籍30冊以上の場合 当該書籍のみ無料
- ② 分類ゲージ 1～4枚・・・150円／ 5～13枚・・・210円／14～29枚・・・290円／
 30～49枚・・・410円／50枚～・・・720円

【割引】 同一書籍10冊以上まとめてご注文の場合 （定価又は会員価格）×冊数×0.9
 同一書籍30冊以上まとめてご注文の場合 定価×冊数×0.8
 ＊分類ゲージは枚数による割引はありません

8. 書籍申込要領・書籍注文書

書籍申込要領

注文書について

- ①所定の注文書または、WEBシステムを用いてお申込み下さい。
- ②所定の注文書一枚に書ききれない場合、注文書を複写し一つにまとめてお申込み下さい。
その際、発注者・納品先は一枚目のみを記入し、枚数記入欄に忘れずに枚数を記入して下さい。

書籍購入の流れ

- ①注文書を講習会申込書と同封の上、JSNDI業務課講習会係宛に郵送
- ②講習会受講券発送後、書籍発送
- ③請求書、納品書、振込用紙の到着（郵便）
- ④書籍の到着（宅配便）
- ⑤書籍と請求内容を確認後、送付された振込用紙により送金

講習会受講料と書籍代金の請求書
は別送です

注文書記載要領

- ①申込日、注文書枚数、受講部門略称、受講地区、会員番号の記入
 - ・受講部門略称および受講地区は「講習会開催要領」を参照の上、ご記入下さい。
但し、お申込みになられた書籍が複数の受講部門にまたがっている場合、受講部門略称および受講地区は一番早い日程のものをご記入下さい。
 - ・会員番号は、「会員証」に記載されている9桁の番号です。
また機関誌「非破壊検査」が送付されたときの宛名ラベルにも記載されています。
「非破壊試験技術者資格証明書」に記載されている認証番号または、個人コードとは異なりますのでご注意下さい。
- ②発注者、納品先の記入
 - ・発注者、納品先が会社名の場合、担当者名を必ずご記入下さい。
 - ・納品先が発注者と同じ場合、納品先は記入不要。
 - ・納品先が発注者と異なる場合、請求書は発注者に送付されます。
- ③書籍略称、書籍コードは書籍一覧を参照の上、ご記入下さい。
- ④注文書下部、合計数量等の二重線の枠内には記入しないで下さい。

送付について

- ・講習会（JSNDI主催）受講者は書籍が会員価格となりますので、必ず講習会申込書と書籍注文書を同封して、業務課講習会係宛にお送り下さい。
同封していない場合、割引とならないこともあり、また書籍の到着が講習会に間に合わないこともありますので、ご注意下さい。（ただし、会員価格の適用は講習会開催期間中のみとなりますのでご了承下さい。）
- ・書籍の発送は申込順ではなく、講習会の日程に合わせて発送しておりますので、複数の方の注文書を同時に郵送しても希望受講部門によって書籍の到着が異なることがありますので、ご注意下さい。

注意：返本については落丁、不良品のみとさせていただきますので、書籍略称、コード等の記入間違いには充分にご注意下さい。また返本、交換は書籍到着後1週間以内にご連絡頂いた場合に限りです。

書籍係より

当協会ではここに掲載している書籍以外にも非破壊検査関連図書をご用意しております。
当協会発行の関連図書一覧をご希望の方は当協会ホームページをご参照して下さい。

* 書籍発送は原則として、各講習会開催日の2週間前になります。また、受講券の発送とは別送です。

C 1 5 0

/

JSNDI 講習会受講者専用書籍注文書 (2015 年 12 月～2016 年 02 月)

* 書籍注文書は必ず講習会申込書と同封してお送り下さい。

申込日	年	月	日	枚 数	/
部門略称			受講地区	東京 ・ 大阪	複数の部門をまとめてお申込の方は、一番早い日程の部門をご記入下さい
会員番号					【会員種別】 正会員 (個人) ・ 団体 ・ 学生 ・ 賛助

* 発注者 〔請求書 送付先〕	会社名 または 氏名	フリガナ フリガナ 担当者名 ()
	住 所	フリガナ (〒 -) (TEL) (FAX) 都道 府県
* 納品先 〔書籍 送付先〕	会社名 または 氏名	フリガナ フリガナ 担当者名 ()
	住 所	フリガナ (〒 -) (TEL) (FAX) 都道 府県

* 発注者、納品先が会社の場合、担当者名を必ず記入して下さい。

* 納品先が発注者と同じ場合は記入不要です。請求書は発注者に送付致します。

書籍略称	書籍コード	冊 数	単 価	金 額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				
(5)				
(6)				
(7)				
(8)				
(9)				
(10)				
_____	計		_____	

以下の欄へは記入しないで下さい

	書 籍	ゲ ー ジ			金 額
合計数量				梱包発送費	
整理番号				請求金額	
注文書転送日		書籍発送日			

9. 講習会申込書 記載注意事項

講習会受講申込書は各部門ごとに一人一枚でお願いします。
受講部門が2部門以上、または複数名の方は申込書をコピーして記入ご使用下さい。申込書は、全て楷書にてハッキリと記入して下さい。

なお、記入もれがありますと処理ができないこともありますので注意して下さい。

1. 受講部門（略称）

受講部門の名称を次の略称で記入して下さい。

受講部門名	レベル	略 称
全NDT共通	3	K I S O
放射線透過試験	1	R T - 1 0
放射線透過試験	2	R T - 2 0
放射線透過試験	3	R T - 3 0
超音波探傷試験	1	U T - 1 0
超音波厚さ測定	1	U M - 1 0
超音波探傷試験	2	U T - 2 0
超音波探傷試験	3	U T - 3 0
磁気探傷試験	1	M T - 1 0
磁気探傷試験	2	M T - 2 0
磁気探傷試験	3	M T - 3 0
浸透探傷試験	1	P T - 1 0
浸透探傷試験	2	P T - 2 0
浸透探傷試験	3	P T - 3 0
渦電流探傷試験	1	E T - 1 0
渦電流探傷試験	2	E T - 2 0
渦電流探傷試験	3	E T - 3 0
ひずみゲージ試験	1	S T - 1 0
ひずみゲージ試験	2	S T - 2 0
ひずみゲージ試験	3	S T - 3 0

2. 受講地区

受講地区のコードを次の番号で記入して下さい。

東京 1 3 大阪 2 7

3. 業種コード

21.検査	28.金属・非鉄金属	35.電子・電気機器
22.検査装置製造・販売	29.重工業・機械製造	36.学校
23.電力	30.建築・土木	37.官庁
24.ガス	31.鉄骨加工	38.中立機関
25.石油・石油化学	32.セメント・コンクリート	39.その他
26.プラントエンジニアリング	33.運輸	
27.鉄鋼（製鉄）	34.輸送用機械	

4. 個人コード

資格証明書に記載されているコード番号を記入して下さい。

5. 会員有無

非会員・会員のどちらかを○で囲んで下さい。

会員の方は、会員番号を記入して、会員証のコピーを受講申込書の裏面に添付して下さい。

- ・申し込みの際に、会員証のコピーを添付していない場合は、会員であっても非会員扱いとなりますので充分ご注意下さい。
- ・会員番号は、毎月発行されている当協会機関誌「非破壊検査」が送付されたときの宛名ラベルに記載された9桁の番号です。

「非破壊試験技術者資格証明書」に記載された個人登録番号とは異なりますので、ご注意下さい。

・会員価格対象者は受講者本人が正会員（支部賛助会員は対象外）で登録されている方になっております。（会員証に氏名が記載されている本人。）

6. 実習希望日

実習日の選択がある場合には、実習希望日を記入して下さい。

但し、先着順ですので申込みが遅い場合はご希望にそえかねますので、早めにお申し込み下さい。

7. 受講者氏名

上段にはフリガナをカタカナで、下段には楷書で漢字を記入して下さい。

8. 性 別

該当する番号を○で囲んで下さい。

9. 生年月日

西暦にて、生年月日を記入して下さい。

一桁の場合でも0を入れて下さい。

10. 勤務先名称・事業所・工場名・所属部課名

上段にはフリガナをカタカナで、下段には楷書で漢字を記入して下さい。

カタカナの勤務先名称の場合もフリガナを記入して下さい。

なお、会社形態は必ず次のように記入して下さい。

株式会社→(株) 有限会社→(有)
合名会社→(名) 合資会社→(資)
公益財団法人→(公財) 公益社団法人→(公社)
一般財団法人→(一財) 一般社団法人→(一社)
学校法人→(学) 協同組合→(協)

11. 連絡先指定

該当する番号を○で囲んで下さい。

受講券をお送りする連絡先となります。

郵便物が確実に届く場所を指定して下さい。

12. 連絡担当者又は本人氏名

申込書に関するこちらの連絡内容进行处理していただける方の氏名を記入して下さい。・所属部課・Tel・Faxを必ず記入して下さい。

13. 連絡先名称・事業所・工場名・所属部課名

勤務されている所在地を記入して下さい。

なお、事業所・工場名、所属部署名も必ず記入して下さい。

14. 連絡先住所

連絡先所在地の住所を記入して下さい。

15. 受講者自宅住所

受講者自宅住所の住所を記入して下さい。

★電話番号は日中にご連絡が取れる番号でお願いします。

☆講習会開催に際しまして、受講希望者が10名以下の場合はやむを得ず中止することもありますので御了承下さい。

★電話、FAXでの予約受付はしておりませんので、必ず申込書を郵送して頂くかWEBシステム上からお申込み下さい。到着順に受けさせていただきます。

非破壊試験技術講習会 申込書

記入例

(2015 年 12 月～2016 年 2 月)

申込年月日：平成 27 年 10 月 1 日

No. この欄は記入しないで下さい。

1. 受講部門コード	U	T	—	2	0	2. 受講地区コード	1	3							
3. 業種コード	0	1	4. 個人コード (お持ちの方のみご記入下さい。)			P	9	8	7	6	5	4	3	2	
5. 会員有無	(1) 非会員・ (2) 会員 (いずれかを○で囲む)					会員番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6. 実習希望日	第 1 希望 第 2 組		第 2 希望 第 1 組		第 3 希望 第 組		第 4 希望 第 組								
7. フリガナ	姓		名		8. 性別	9. 生年月日									
受講者氏名	ヒハカイ		タロウ		(1) 男 2 女	西暦			月		日				
	非破壊		太郎			1	9	8	0	0	3	2	1		
10. フリガナ 勤務先名称	ニホンヒハカイインスパートキョウカイ (一社) 日本非破壊インスパート協会														
事業所・工場名 所属部課名	江東事務所 検査部														

以下 11～15 の欄は受講票、訓練実施記録等の発送先の住所です。

11. 連絡先指定 (いずれかを○で囲む)	12. 連絡先担当者又は本人 フリガナ	姓	名
1 自宅住所	氏 名	ヒハカイ	ハナコ
(2) 連絡先担当者又は本人勤務先住所		非破壊	花子
13. フリガナ 連絡先名称	ニホンヒハカイインスパートキョウカイ (一社) 日本非破壊インスパート協会		
事業所・工場名 所属部課名	秋葉原事務所 総務課		

14. 勤務先所在地	郵便番号			電話番号			FAX		
	1 3 6 - 0 0 7 1			0 0 - 0 0 0 0 - 0 0 0 0			0 0 - 0 0 0 0 - 0 0 0 0		
	都道府県 市区郡 町村 大字・小字・(条) 丁目 一 番地 一 号気付 (ビル名など)								
	東京 都 江東区 亀戸 2 - 2 5 - 1 4 立花 A N X								
15. 受講者 自宅住所	郵便番号			電話番号 (携帯電話可)			FAX		
	1 3 2 - 0 0 1 1			0 0 - 0 0 0 0 - 0 0 0 0			0 0 - 0 0 0 0 - 0 0 0 0		
	都道府県 市区郡 町村 大字・小字・(条) 丁目 一 番地 一 号気付 (ビル名など)								
	東京 都 江戸川区 瑞江 2 - 1 1 - 9								

注：受講申込書受理後の受講取り消しは、一切できませんので受講申込の際には、充分ご注意ください。

非破壊試験技術講習会 申込書

(2015 年 12 月～2016 年 2 月)

申込年月日：平成 年 月 日

No.

1. 受講部門コード	—			2. 受講地区コード			
3. 業種コード	4. 個人コード (お持ちの方のみご記入下さい。)			P			
5. 会員有無	(1) 非会員・(2) 会員 (いずれかを○で囲む)			会員番号			
6. 実習希望日	第1希望 第組		第2希望 第組		第3希望 第組		第4希望 第組
7. フリガナ 受講者氏名	姓		名		8. 性別	9. 生年月日	
					1 男	西暦	月 日
					2 女		
10. フリガナ 勤務先名称							
事業所・工場名 所属部課名							

以下 11～15 の欄は受講票、訓練実施記録等の発送先の住所です。

11. 連絡先指定 (いずれかを○で囲む)	12. 連絡先担当者又は本人 フリガナ	姓	名
1 自宅住所			
2 連絡先担当者又は本人勤務先住所	氏 名		
13. フリガナ 連絡先名称			
事業所・工場名 所属部課名			

以下の 14、15 の欄もすべてご記入下さい。

14. 勤務先 所在地	郵便番号		電話番号		FAX	
	—					
	都道府県 市区郡 町村 大字・小字・(条) 丁目 番地 号気付 (ビル名など)					
	都道府県					
15. 受講者 自宅 住所	郵便番号		電話番号(携帯電話可)		FAX	
	—					
	都道府県 市区郡 町村 大字・小字・(条) 丁目 番地 号気付 (ビル名など)					
	都道府県					

注：受講申込書受理後の受講取り消しは、一切できませんので受講申込の際には、充分ご注意下さい。

JSNDI
<http://www.jsndi.jp/>



一般社団法人 **日本非破壊検査協会**